

GAMERA

ニューヨーク・コミコン2015にて「ガメラ」生誕50周年記念映像 お披露目！会場は大熱狂！！

日本時間の10月9日午前2:00より「New York Comic Con2015(ニューヨーク・コミコン2015)」の会場にて、行われたイベントにおいて、生誕50周年を記念した新映像「GAMERA」を世界初公開しました。

特撮ファンから熱狂的人気を誇る怪獣シリーズ「ガメラ」。この作品が世に生まれ出でてから2015年でちょうど50年。10月8日(日本時間:10月9日午前2時~2時30分)、ニューヨークはマンハッタンのジェイコブ・K・ジャヴィッツ・コンベンションセンターにて開催された「ニューヨーク・コミコン2015」にて「GAMERA 50th anniversary」イベントが開催されました。

まず登壇した株式会社KADOKAWA代表取締役 井上伸一郎は、「1965年11月27日にガメラが「大怪獣ガメラ」で誕生、以降さまざまな敵怪獣との戦いを経て怪獣ファンの人気を得てきました。大映と角川の伝統であるガメラを、今までのファンはもちろん、若い世代の観客にも届くような映像を作って復活させたいと思っていました。ガメラのアイデンティティーである「人類に味方であるとは限らないが、子供の味方。」「ほかの怪獣にはない陸海空で活躍できる機動力。」この2つがガメラの決定的な魅力です」と語りました。

ここでまず新作映像「GAMERA」が公開されると、詰め寄った大勢のファンからは興奮を抑えることなく大歓声と拍手の嵐が起きました。

ここで今回の映像を監督した石井克人氏が登壇。「角川映画の中でも一番大事なキャラクター『ガメラ』を手掛けることに大変緊張しました。自分でプロジェクターを買って怪獣映画を研究したりして、皆さんに喜んでもらうために映像を作りました。皆さんの笑顔を見ることができて本当に作ってよかったと思っています。大変でしたけど！」とコメントしました。

MCから「ガメラはまた50年生き続けますか？」の質問には、プロデューサーの菊池剛が「もちろんです。石井監督はアニメーションとライブアクションの両方が得意で、日本のアニメーションの出口とCGの入り口の巨大で繊細なタッチのガメラが表現できると確信しました。新たなGAMERAを生み出したことであと50年間ガメラは生き続けると信じています。」と締めくくりました。

最後にニューヨーク・コミコン限定のTシャツを会場にプレゼント。会場の怪獣ファンが押し寄せました。今後株式会社KADOKAWAは「GAMERA」新プロジェクトを企画中です。日本の枠を超え世界から発信した新たな「GAMERA」にご期待ください。

ニューヨークコミコン2015で 「ガメラ」生誕50周年記念映像を大公開！ 「宮藤官九郎、ギャオスに捕食される!!!」

かつて「ゴジラ」と双壁をなした、特撮ファンから熱狂的人気を誇る、怪獣シリーズ「ガメラ」。その「ガメラ」が2015年、生誕50周年を迎えました。10月8日(日本時間、10月9日深夜2時30分)ニューヨーク・マンハッタン ジェイコブ・K・ジャヴィッツ・コンベンションセンターにて開催の米ポップカルチャーの祭典「ニューヨーク・コミコン2015」で株式会社KADOKAWAは「ガメラ」生誕50周年記念映像として、「GAMERA」を公開しました。CGで甦った「GAMERA」を手掛けた監督は、鬼才・石井克人。映画、CM、TV、ドラマ、アニメーションなど、あらゆるジャンルの映像作品を手掛け、クエンティン・タランティーノの「キルビル Vol.1」のアニメパートも手掛けた実績もある世界が認める才能です。

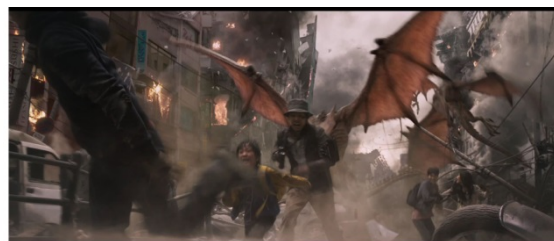
「GAMERA」では、日本・東京をギャオスが来襲。人々が逃げ惑うなか、少年・マナフ(高橋 琉晟)は、父親(宮藤官九郎)をギャオスに食べられ、失ってしまう。ひとり生き残ったマナフの運命は.....？

10月9日オープンの「ガメラ生誕50周年」WEBサイト(<http://www.gamera-50th.jp/>)にて、ショートバージョンをご覧いただくことができます。

第28回東京国際映画祭(TIFF)の日本映画クラシックス部門の旧作「ガメラ」シリーズ4作品上映にて、「ガメラ」生誕50周年記念映像を日本で初の上映予定。10月10日よりticket boardにてチケット発売開始！

詳しくは東京国際映画祭公式サイトへ！ www.tiff-jp.net

今後KADOKAWAでは、「GAMERA」
新プロジェクトを企画予定。
内容は決定次第、随時お知らせ致します。



「GAMERA」監督プロフィール

石井克人

いしいかつひと／映画監督、アニメーション監督、CMディレクターとして幅広く活躍。主な作品に『鮫肌男と桃尻女』(1999)、『PARTY7』(2000)、『茶の味』(2004/カンヌ映画祭監督週間オープニング作品)、『ナイスの森 THE FIRST CONTACT』(2005)、『山のあなた～徳市の恋～』(2008)、『REDLINE』(2010／原作・脚本)、『スマグラー -おまへの未来を運べ-』(2011/第36回トロント国際映画祭招待作品)、『ハロー!純一』(2014/監督・脚本・企画プロデュース)など。

第28回東京国際映画祭 日本映画クラシックス部門上映作品

「大怪獣空中戦 ガメラ対ギャオス」(1967) デジタル・リマスター版

「ガメラ 大怪獣空中決戦」(1995) 4Kデジタル・復元版

「ガメラ2 レギオン襲来」(1996) 4Kデジタル・復元版

「ガメラ3 邪神＜イリス＞覚醒」(1999) 4Kデジタル・復元版

「平成ガメラ」3作品の4Kデジタル・復元版はここで初の上映となります。

詳細は 第28回 東京国際映画祭(TIFF) www.tiff-jp.net

10月10日よりticket boardにてチケット発売開始！

詳しくは東京国際映画祭公式サイトへ！

【本件に関する素材お問い合わせ・媒体連絡先】

映像事業局 映像統括部 プロジェクト統括課
TEL: 03-3238-8483 FAX: 03-3238-8612